

# ネットワークアンケート ④7

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

## Q. 貴院では、使用済み穿刺針の回収を行っていますか？

血糖自己測定(SMBG)で行う採血用穿刺器具。使用済み針は安全に廃棄する必要がありますが、全国統一ルールが徹底されていないのが現状で、扱いは医療機関や自治体によっても異なることがあると言われます。近年では患者さんが自主的にSMBGを行う例も増えておりますので、今回はその実情を伺ってみました。

[回答数：医療スタッフ126名(医師20、看護師69、薬剤師19、臨床検査技師11、その他7。うち日本糖尿病療養指導士43、糖尿病看護認定看護師3)、患者さんやその家族439名うち血糖自己測定を行っている有効回答者430名(病態/1型糖尿病210、2型糖尿病219、その他1、治療内容/食事療法300、運動療法243、経口薬179、注射薬25、インスリン療法359/重複回答有)]

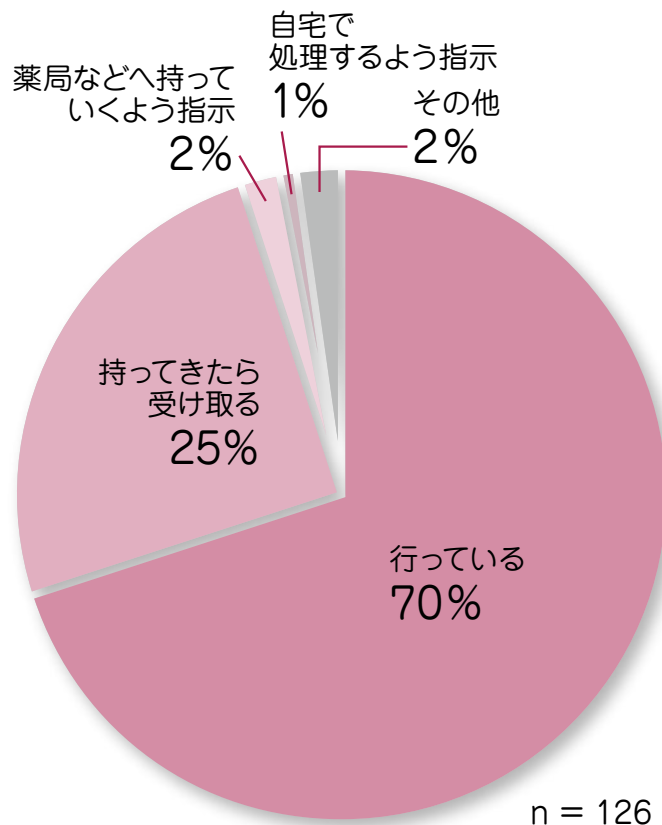
“使用済み針は医療機関へ”と9割の方が指導していると回答される中、実際に回収を「行っている」のは7割という結果でした。気になったのは「持ってきたら受け取る」の25%で、廃棄のしかたは患者さんに任せているとのこと。積極的に回収していない理由としては、「病院の方針」と答えた方が50%、「針刺し事故を減らすため」が21%、「医療廃棄物の処理費用がかかるため」18%でした。

医療機関で関知していない使用済み針の行方として考えられるのが、家庭ごみへの廃棄。56%が2割以下と答えましたが、16%は2～6割程度いるのではと実感されて

いるようです。

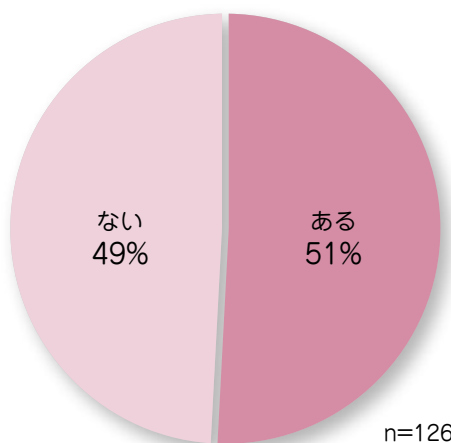
怖いのは、回答者の半数以上が使用済み針の受け取りや院内処理で“ヒヤリ”経験をされており、その多くが患者さんの回収容器やビニール袋から針が突き出ていたというもの。回収容器として使われることの多いペットボトルの中には材質がやわらかいものがあるようで、針が突き出てしまう危険性があるとのことでした。

自由記述では、「院内に医療廃棄BOXを



設置してから事故が減った’、‘市が指定容器を医療機関へ配布してくれているので、自己測定チップを配布する時に渡している’、‘医療機関での廃棄処理も含めての在宅自己注射指導管理料なので、こちらがきちんと責任をもって回収すべき’、‘アルコール綿や使い捨てのプラスチック製デバイスは分類し、針や血液のついたセンサーのみ専用容器へ入れて医療機関へ持参してほしい’等々、多くの意見が寄せられました。

## Q. 使用済み穿刺針でヒヤリとした経験はありますか？



## Q. 使用済み穿刺針を家庭で廃棄していると思われる方は患者さん全体でどれくらい？

